



はじめに

1993年のことだったか。ショーン・ケンプという NBA 選手のインタビューをしたことがある。しかし、通訳を介してのインタビューに興奮はなく、むしろ自分に苛立ちさえ覚えた。一念発起。アメリカに渡ってまず英語を勉強し、現地でスポーツの取材をしたいと思ったのは、そのときだ。1995年の秋に渡米して今に至るまで、あのときの悔しさは、いろいろなことへの原動力となっている。

本書の目的は、なんといってもメジャーリーグの世界を身近に感じてもらうことだ。日本人大リーガーの増加で、彼らの情報は日々入ってくるものの、大リーグ全体の話題となると、まだまだネットの英文記事などに頼らなければならない。そこには当然、英語という壁があるが、「何とかしたい」——メジャーファンのそんな苛立ちに応えられればと、思う。

壁を越えるためのアプローチ方法はさまざまだが、まずは触れること。ネットなどで記事を読み、テレビ中継の副音声で現地の実況が聞けるならば、そちらに合わせる。なにより「もっと知りたい」という貪欲さが、ハードルを下げる。

私が日本にいた頃、インターネットなんてごく一部の世界の話。大リーグ中継も限られていた。今は、それを求めるものに制限はない。要は、恵まれた環境をどう生かすかだ。英語でメジャーリーグを楽しむことに興味を持った人たちの背中をそっと押す——そんな役割を本書が担うことを願う。

2009年3月 丹羽政善

CONTENTS



はじめに iii

本書の構成と活用法 vi

Chapter1 基本単語を覚えよう

- 1 メジャー30チームのプロフィール 002
 - MLB名言集 019
- 2 グラウンドと守備位置の名称 020
- 3 プレーの基本用語 022
 - MLB名言集 033
- 4 体の部位とけがの表現 034
 - MLB名言集 036

Chapter2 ニュース記事を読んでみよう

- 150ワード前後の短い記事から始めよう 038
 - 見出しのルールってなんだろう? 048
- 300ワード前後の少し長めの記事を読んでみよう 050
- 800ワード以上の記事全文に挑戦してみよう 066
 - MLB名言集 074

Chapter3 テレビ中継を見てみよう

- 1 テレビ画面に出てくるデータの読み方 076
 - 略語にはどんなものがある? 079
- 2 スポーツキャスターの名実況 082
 - MLB名言集 094

Chapter4 インタビューを聞いてみよう

- ジャロッド・ウォッシュバーン Jarrod Washburn 096
- CJ・ウィルソン C.J. Wilson 100
- トーリ・ハンター Torii Hunter 106
- ライアン・ローランドスミス Ryan Rowland-Smith 116
- ボブ・シャーウィン Bob Sherwin 126
- MLB名言集 142

Chapter5 ウェブで情報をゲットしよう

- 1 ブックマークしておきたいウェブサイト 144
- 2 リサーチツールとしてのウェブ活用法 148
 - MLB名言集ーヨギイズム 155

MLB用語辞典 157

編集協力
英文校閲

桑田 健
Mark Christianson

CD収録時間
CDナレーション(Chapter3)
録音・編集

約33分
Jack Merluzzi
ELEC録音スタジオ

カバーデザイン
カバー写真
本文イラスト
本文デザイン
DTP組版

内田雅之(VOLTAGE)
菊岡修司
川崎敏郎
(有)ディーイーピー
奥田直子、(有)ディーイーピー



本書の構成と活用法

本書は、メジャーリーグを英語で楽しむために必要な英語力を付けることを狙いとして、企画されました。中でも、新聞や雑誌、ウェブなどの英文記事を理解するための「読解力」と、試合の生中継やインタビューなどを聞き取るための「リスニング力」のアップを目的とした構成になっています。

Chapter 1 基本単語を覚えよう

Chapter 2 ニュース記事を読んでみよう

最初の2章は「読解力」を付けるためのものです。野球報道で使われる基本的な単語の意味やその使い方を覚えてから、実際に各種メディアで発表された英文のニュース記事を読んでいきます。

単語の意味を覚えただけで、英文記事を読みこなせるようになるわけではありません。単語のニュアンスは前後の文脈によっても変わりますので、本書を足掛かりに、野球関連の英文になるべく多く触れていきましょう。自分にとって興味のある選手やチームに関する記事から始めるとよいでしょう。

Chapter 3 テレビ中継を見てみよう

Chapter 4 インタビューを聞いてみよう

次の2章は「リスニング力」を付けるためのものです。現役メジャーリーガーや記者のインタビューの生音声、過去の名実況の再現ナレーションをCDで聞いてみましょう。

インタビューなどでは、それほど難しい単語は使われていません。しかし、耳が慣れていないと、口語の聞き取りは簡単ではないでしょう。「リスニング力」を付ける秘訣も、「読解力」と同様、たくさん聞くことです。試合の生中継を聞くチャンスがあれば、できるだけ生かしましょう。きっと「知っている、聞いたことがある」という表現が増えてくるはずですよ。

Chapter 5 ウェブで情報をゲットしよう

最後の章では、ウェブの活用法を紹介しています。メジャーのさまざまな情報を得るには、現地のウェブサイトを見るのが一番。「英語で調べるのはちょっと…」と思わず、まずは本書で紹介したサイトをのぞいてみましょう。コツさえつかめば、情報検索の楽しさを実感できるに違いありません。

それでは、メジャーリーグの英語の世界に足を踏み入れてみましょう！

Chapter 1

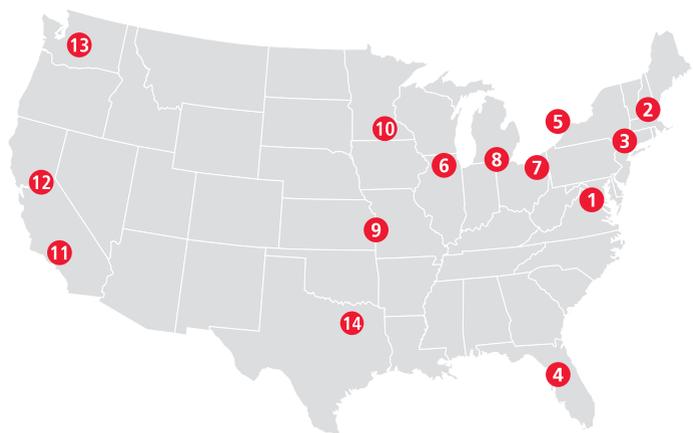
基本単語を覚えよう



1 メジャー 30チームのプロフィール

ニックネームやスローガン。短い、ちょっとした言葉の中にも、そのチームの歴史が込められている。ここでは、そんな各チームにまつわる言葉の背景に加え、ロッキーズのマスコットはなぜ恐竜？ メジャーで最も快適な球場とは？ といったエピソードを交えながら、メジャー全 30 チームを紹介。各チームで受け継がれている伝統、創設の歴史、また、メジャーで使用されている独特の表現などにも触れていこう。

American League (AL) アメリカン・リーグ(ア・リーグ)



East Division 東地区

- | | |
|---------------------------|---------------|
| ① Baltimore Orioles (BAL) | ボルティモア・オリオールズ |
| ② Boston Red Sox (BOS) | ボストン・レッドソックス |
| ③ New York Yankees (NYY) | ニューヨーク・ヤンキース |
| ④ Tampa Bay Rays (TB) | タンパベイ・レイズ |
| ⑤ Toronto Blue Jays (TOR) | トロント・ブルージェイズ |

Central Division 中地区

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ⑥ Chicago White Sox (CWS) | シカゴ・ホワイトソックス |
| ⑦ Cleveland Indians (CLE) | クリーブランド・インディアンズ |
| ⑧ Detroit Tigers (DET) | デトロイト・タイガース |
| ⑨ Kansas City Royals (KC) | カンザスシティ・ロイヤルズ |
| ⑩ Minnesota Twins (MIN) | ミネソタ・ツインズ |

West Division 西地区

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| ⑪ Los Angeles Angels of Anaheim (LAA) | ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイム |
| ⑫ Oakland Athletics (OAK) | オークランド・アスレチックス |
| ⑬ Seattle Mariners (SEA) | シアトル・マリナーズ |
| ⑭ Texas Rangers (TEX) | テキサス・レンジャーズ |

1 East Division 東地区

Baltimore Orioles (BAL)

ボルティモア・オリオールズ

ホームスタジアム
(開場年)

Oriole Park at Camden Yards

オリオール・パーク・アット・カムデンヤーズ (1992年)

収容人数

48,190人

If you play for one run, that's all you'll get.

(1点を取りにくい限り、それだけしか取れない)

フランチャイズを転々としながら、現在のボルティモア・オリオールズとなったのは1954年のこと。長く低迷が続いたが、66年を境に黄金期を迎える。それを支えたのは、68年に監督に就任した名将アール・ウィーバー。彼は今でいう、バント、盗塁、ヒット&ランなどを多用するスモールベースボールを嫌い、勝利哲学を“Pitching, Defense, and the Three-Run Home Run (投手力、守備、3点本塁打)”に求めた。なぜかと問われたウィーバーが口にしたのが、見出しの言葉。「1点を取りにくい限り、それだけしか取れない」は、今でもよく耳にするフレーズである。

2 East Division 東地区

Boston Red Sox (BOS)

ボストン・レッドソックス

ホームスタジアム
(開場年)

Fenway Park

フェンウェイ・パーク (1912年)

収容人数

36,984人 (デーゲーム) / 37,400人 (ナイター)

Lone red seat

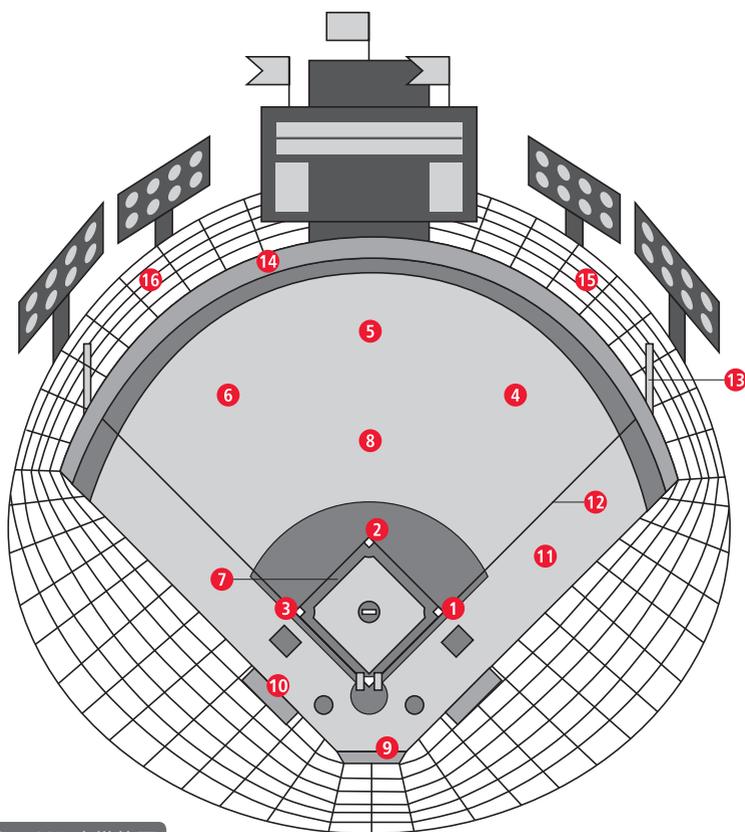
(一つだけの赤い席)

レッドソックスが本拠地とするフェンウェイ・パークには、ライトスタンドに1席だけ、赤く塗られた席がある。それを“Lone red seat (一つだけの赤い席)”と呼ぶが、そこは1946年6月9日に最後の4割打者として知られるテッド・ウィリアムスが放ったフェンウェイ・パーク史上最長の本塁打の落下地点とされる。公式記録は502フィート(153メートル)。フェンウェイ・パークではまた、右翼のファウルポールを“Pesky's Pole (ペスキーズ・ポール)”と呼び、左翼のファウルポールを“Fisk Foul Pole (フィスク・ファウルポール)”と呼ぶが、これもそれぞれ、往年の名選手のエピソードに由来している。

※スタジアムの収容人数は2008年のデータです。ただし、ヤンキー・スタジアムとシティ・フィールドの収容人数は09年のデータになります。

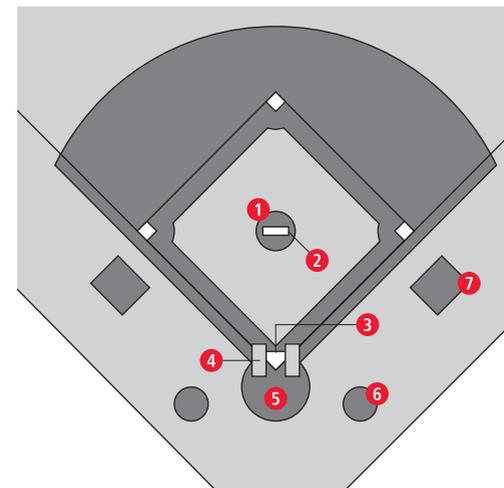
2 グラウンドと守備位置の名称

ここでは、グラウンドや守備位置の名称などを紹介。日本での呼び名と同じものがほとんどなのでわかりやすいが、だからこそ、こうした基礎用語は確実に覚えておきたい。メジャーには日本語でいう「バックネット」という表現がなく、backstopと呼ばれる——そんな最低限の違いもしっかり把握しておこう。



グラウンドと守備位置

- | | | | |
|---------------------|----|-----------------------------------|------------|
| 1 first base (1B) | 一塁 | 9 backstop | バックネット |
| 2 second base (2B) | 二塁 | 10 dugout/bench | ダッグアウト/ベンチ |
| 3 third base (3B) | 三塁 | 11 foul ground/foul territory | ファウルグラウンド |
| 4 right field (RF) | 右翼 | 12 foul line | ファウルライン |
| 5 center field (CF) | 中堅 | 13 foul pole | ファウルポール |
| 6 left field (LF) | 左翼 | 14 wall/fence | フェンス |
| 7 infield | 内野 | 15 right stands/right-field seats | 右翼スタンド(席) |
| 8 outfield | 外野 | 16 left stands/left-field seats | 左翼スタンド(席) |



- | | | | |
|-------------------|-----------|------------------|---------------|
| 1 pitcher's mound | ピッチャーマウンド | 5 catcher's box | キャッチャーボックス |
| 2 pitcher's plate | ピッチャープレート | 6 on-deck circle | ネクストバッターズサークル |
| 3 home plate (HP) | 本塁 | 7 coach's box | コーチャーズボックス |
| 4 batter's box | バッターボックス | | |

野手

- | | |
|-------------------|------------|
| 1B first baseman | 一塁手(ファースト) |
| 2B second baseman | 二塁手(セカンド) |
| 3B third baseman | 三塁手(サード) |
| SS shortstop | 遊撃手(ショート) |
| RF right fielder | 右翼手(ライト) |
| CF center fielder | 中堅手(センター) |
| LF left fielder | 左翼手(レフト) |
| P pitcher | 投手(ピッチャー) |
| C catcher | 捕手(キャッチャー) |

審判

- | | |
|-----------------------|------|
| HB home-base umpire | 主審 |
| HP home-plate umpire | |
| 1B first-base umpire | 一塁塁審 |
| 2B second-base umpire | 二塁塁審 |
| 3B third-base umpire | 三塁塁審 |

ファウルポールと呼ばれるわけ

ファウルボールに当たった打球は本塁打。「ファウル」ボールなのに、どうしてフェアなのか。フェアボールではいけないのか？ 理由は諸説あるが、ファウルボールが初めて設置されたのは、1962年のこと。このとき実は、ファウルの領域にポールが建てられていた。1年後には今の位置に移ったものの、ファウルポールと呼ばれるのはそれを語源とする説がある。

3 プレーの基本用語

大リーグに対するアプローチはさまざま。目で見て、実際に耳を傾け、新聞・雑誌記事に目を通す。以下で紹介する単語は、いずれも頻りに耳にし、目にする基本的なもの。ピッチング、打撃、守備・走塁に分け、これらが実際に使われている新聞記事などの例文とともに紹介し、その同意語、関連表現も合わせてまとめた。それぞれの語源、日米の表現の違いにも触れることで、言葉への理解を深めて欲しい。

- ピッチング編
- 打撃編
- 守備・走塁編

starting pitcher 先発投手

Lester's win means the Red Sox's **starting pitchers** won all four games of the World Series.

レスターの勝利は、レッドソックスの先発投手がワールドシリーズ 4 試合すべてで勝ち投手となったことを意味する。

解説 開幕戦の先発投手に関しては **opening day starter** と呼ぶ。

関連語 **relief pitcher / reliever** で救援投手全般を指すが、抑え投手につなぐ投手のことを **setup pitcher** または **setup man** と呼び、勝ち試合の 9 回に登板する投手を **closer** と呼ぶ。**closer** は **fireman** とも表現できる。**closer** が無事に試合を締めくくった場合、**save** が記録されるが、失敗した場合は **blown save** がつく。記録上、**save** の略は **SV**、**blown save** は **BLSV**。

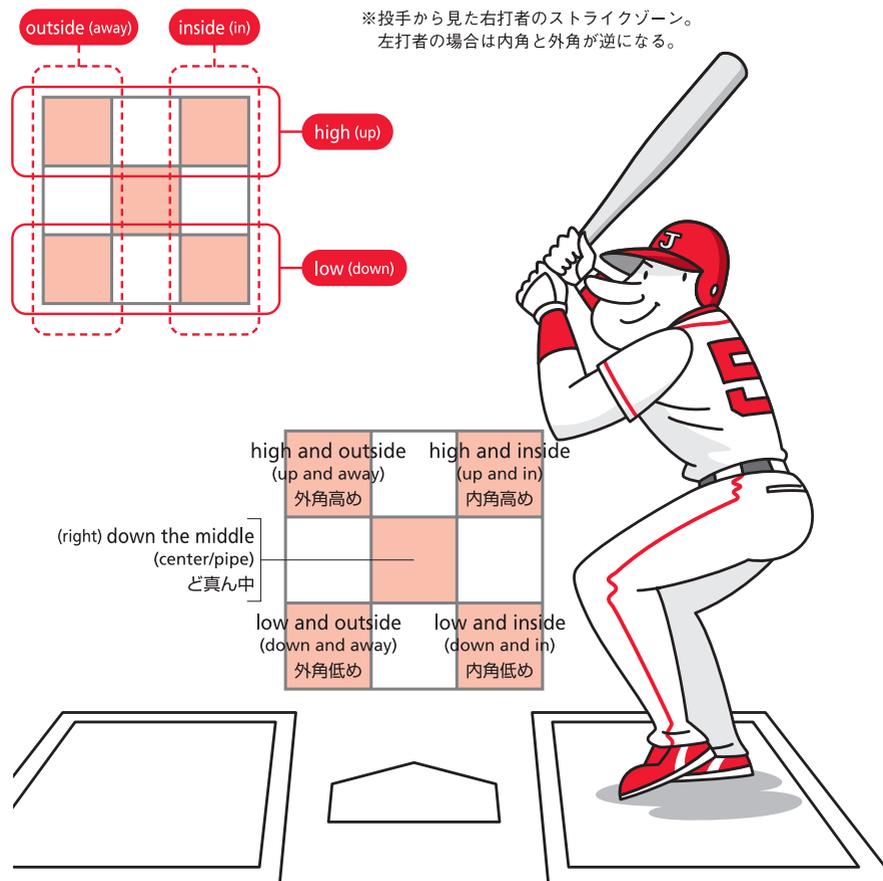
down the middle ど真ん中

"I don't see pitches **down the middle** anymore — not even in batting practice." by Hank Aaron

「もう、ど真ん中のボールを見ることはないね、打撃練習でさえも」(ハンク・アーロン)

解説 コースでど真ん中のことを **down the middle** と表現。その他のコースの表現についてはイラスト参照。

関連語 **happy zone**、**meatball** も「ど真ん中」という意味。**groove a pitch** なら「ど真ん中に投げる」という表現で、**"Daisuke Matsuzaka grooved a pitch that Ichiro didn't miss."** は「松坂大輔がど真ん中に投げ、それをイチローは見逃さなかった」となる。



four-seam fastball フォーシーム・ファーストボール

The pitches that he has command of are the slider, forkball, changeup, the **four-seam fastball** — which is a riding-type fastball with increasing velocity.

彼が投げることができるのは、スライダー、フォークボール、チェンジアップ、フォーシーム・ファーストボールで、それは速度を増し、打者の手元で浮き上がるタイプのものである。

解説 フォーシーム・ファーストボールとは、打者から見て球が 1 回転する間に横の縫い目が 4 本見える速球のことをいう。

関連語 **two-seam fastball** も同じストレート系だが、打者の手元でやや沈む。こちらは、1 回転する間に横の縫い目が 2 本見える速球のこと。